



ナイス福岡 会報

くすのき

2021年2月
第 **307** 号



「冬の森の中の一コマです。」

里山で草地から森が始まる付近で、この赤い実を見かけます。夏頃、白色の小さな花を2〜3個咲かせ、その後、赤い実となるのです。この実が冬に重宝されています。私は、見かけると、ついシャッターを押してしまいます。

「フデリンドウの色がすごくフデリンドウですね！」との声もあります。

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 092-844-4381

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会(117回)は

☆日時 2月20日(土) 10時から12時まで
です。

コロナウイルスの拡散防止のための用心しつつ
開催します。

公園の駐車場もすべて従来通り利用できます。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

しばらく中止です。

天拝山探鳥会（筑紫野市）

時 間：9:00～12:00

集 合：天拝山歴史自然公園

問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

2月28日（日）3月28日（日）

久末ダム探鳥会（福津市）

時 間：9:00～12:00

集 合：久末ダム多目的広場横

駐車場（管理事務所下）

問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

3月7日（日）

今津探鳥会（福岡市西区）

時 間：9:00～12:00

集 合：玄洋高校西側道路

問合せ：090-8820-6160（田村耕作）

3月13日（土）

大濠公園探鳥会（福岡市中央区）

時 間：9:00～12:00

集 合：ボート乗り場前

問合せ：092-834-8644（持永俊行）

3月14日（日）

和白海岸探鳥会（福岡市東区）

時 間：9:00～12:00

集 合：JR 和白駅前の公園

問合せ：092-606-0012（山本廣子）

3月2日（火）

県営春日公園（春日市）

時 間：10:00～12:00

集 合：音楽堂ステージ側（第5P）

問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

2月28日（日）

集 合：延命公園（大牟田市）

時 間：9:00～12:00

問合せ：090-4480-9104（中嶋）

参加可能は会員のみ

福岡植物友の会

問合せ：佃 昇（092-662-2983）

要予約 参加は有料

久留米の自然を守る会

4月4日（日）

春の野草を食べる会（採集と調理）

集 合：寺松農園（荒木町）

時間：10:00～

参加費：100円（子ども無料）

要事前申し込み

問合せ：0942-43-7959（河内）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

3月6日（土）

集 合：九州歴史資料館駐車場

時 間：9:30～12:00（早めに終わるか
もしれません）

問合せ：092-920-3072

参加費：大人 200円

コロナ対策：ブログにて確認

ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

検索

観察会や様々な生きもの情報を載せています



パンラン実 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 コロナ前の観察の様子

和白干潟を守る会 主催

2月27（土）

定例会議

時 間：12:00～14:00

集 合：和白干潟を守る会事務所

問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2月27（土）

クリーン作戦 と自然観察会

時 間：15:00～17:00

集 合：海の広場 駐車場なし

長靴・軍手があると便利

問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

ニホンアカガエル 三国・松永

2021年2月 私のデジカメ日誌より 本のむし



1月1日(旧暦11月18日) 筑紫野市天拝坂
新年は雪で明けた。積もるか溶けるか、なんとも中途半端な雪である。冬芽は喜んでいるのか？



1月18日(旧暦12月6日) 筑紫野市天拝坂
ツ・と一声。庭にアオジがやって来た。我が家では初めてだ。ホオジロの仲間では普通なのだが、最近あまり出合えていなかったの、とても嬉しかった。



1月20日(旧暦12月8日) 玉名市横島干拓
今年の出水のツルの北帰行は、昨年より10日早く、1/18に始まったらしい。ここ玉名の越冬地でも、もう飛んだかと思っていたが、家内が見つけてくれた。マナヅル21羽、ナベヅル10羽が田んぼの二番穂などを盛んに食べていた。

今回は、1月1日(旧暦11月18日)～1月31日(旧暦12月19日)までのデジカメ日誌です。



1月4日(旧暦11月21日) 1月5日(旧暦11月22日)
筑紫野市江永浦池 筑紫野市あしき宝満橋
このイカルチドリたち、今まで天拝湖のダム堤でカウントしていたが、今年はゼロで、干上がった溜池や河川敷に分散していた。天拝湖の流通団地工事等が影響したようだ。



1月19日(旧暦12月7日) 玉名市岱明町浜田
車の走行中に突然、砂塵が起った。今まで見たこともない数のアトリの群れ。冬枯れの田んぼに降りては舞い上がって少しずつ移動している。微かなサーっという音の塊が動く。別の大きな群れと合わせり1万5千羽以上いたと感ずる。5年前の栃木の20万羽だとどんな景色だろう。



1月31日(旧暦12月19日) 筑紫野市天拝坂
メジロもヒヨドリもミカンが大好物。ヒヨドリは他種を追い払って独占する。ヒヨドリが私を感じて離れると、メジロは慌てて食べにくる。一日中この繰り返し...

春日公園自然観察会 報告

令和3年1月16日(土)【参加者数】5人

【担当者】、田村耕作

コロナウイルスの拡散防止対策のために、自然観察会を中止していましたが、拡散が落ち着き始めた様子から、6月の観察会から開催しています。しかし、再び拡散が広がっていますが、よりコロナ対策に配慮しつつ、園内を散策しました。

(報告と写真/田村耕作)

観察コース

自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～カスケード～噴水広場～自然風庭園～自然あそび館

観察内容、冬芽や葉痕を中心に観察

植物 ユズリハ、ヒメユズリハ、スズカケ、タイワンフウ、アメリカフウ(モミジバフウ)、ツバキ、サザンカ、ラクウショウ、メタセコイア

野鳥 キジバト、カワセミ、コゲラ、スズメ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、ハクセキレイ、メジロ、カワラヒワ、マヒワ、アトリ、ヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ハシボソガラスその他の生きもの

感想(参加者の声)

- ・ユズリハとヒメユズリハの違いを冬芽で区別することが理解できた。
- ・スズカケの落ちる前の葉の付け根に新しい芽が現れていたことを、改めて観察した。
- ・ヤブツバキとサザンカの葉から、その違いを観察できた。

観察会風景

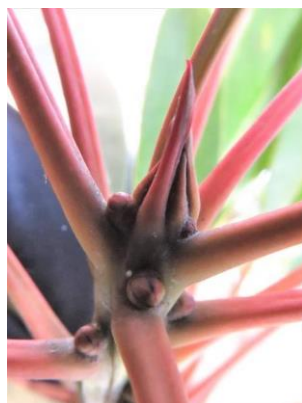
梅の花、開花が始まっている



ユズリハの芽

ヒメユズリハの芽

アメリカフウの種



スズカケの種

タイワンフウの種を食べるマヒワ

サルスベリの種に来たアトリ



会員からの投稿(1)

宍越しの自然観察 39

～ 一期一会 ⑬ ～



暖冬続きで、今後は雪を見ない冬が当たり前になって来るかと思っているところにゴダ雪です。10 日程の足止めとなりました。餌を求めてくる鳥達にミカンやリンゴを用意しましたが、シジュウカラには興味ないらしい、もつぱら、メジロとヒヨドリを取り合い。ヒヨドリが猛烈ダッシュでメジロを追い払い、私がヒヨドリを追い払うと、間髪入れず、メジロが戻ってきます。近くの枝で見張っている様です。

雪一色の中、シロハラ、カシラダカが姿を見せ、わずかに残る軒下の裸地の落ち葉を懸命にひっくり返していました。何か、餌になるものがあつたかな？

(ダムサイト住人 2021 1/31 記)

会員からの投稿(2) 志賀 壮史

SDGs の 17 の目標(その4)

SDGs(持続可能な開発目標)の 17 の目標を少しずつ取り上げています。今回は「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」について。

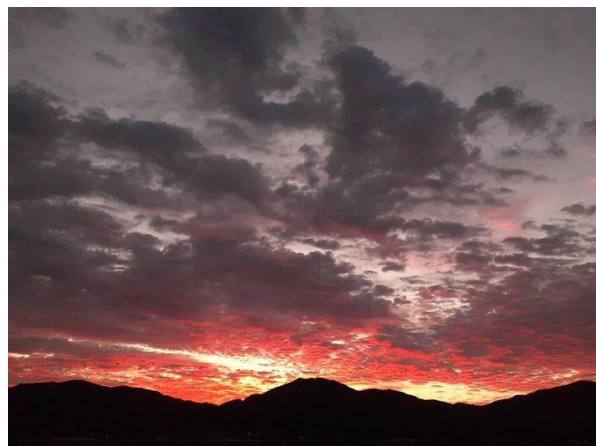
従来の化石燃料技術の効率を上げたり、再生可能エネルギーを増やしたりしようという目標です。電気自動車や風力発電のことが頭に浮かびますね。

再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力など)で発電した電気を、一定期間、一定価格で買い取るのが「固定価格買取制度」です。電気料金を支払っている方は先月の「電気ご使用料・請求金額のお知らせ」をご覧ください。「再エネ賦課金」の金額が、みなさんが再エネによる電気の買取のために先月支払った金額です。私が働くグリーンシティ福岡の事務所では請求金額 ¥3,560-のうち¥414-が再エネ賦課金でした。この「固定価格買取制度」があるので、太陽光や風力発電が事業として成り立っている面もあります。

ただ、クリーンなエネルギーを増やしていくことが大事とは言え、山や自然地を壊すような、取り戻せない開発行為をしていい訳ではありません。

ちょうど脊振山系で風力発電の計画があり、住民説明会などが行われていますが、地元の方だけでなく、電気を使う私たち全員で考えていきたいことですね。自然や風土を守りつつ、持続可能なかたちでエネルギーを分け合っていく必要があります。

(写真：薦田雄一さん／糸島市在住)



会員からの投稿(3) 田村 耕作



室見川の河畔公園の角地にカワツザクラが1本あります。その枝で、沢山の蕾の中で、3ヶ所、開花していました。見ただけで、心が明るくなりました。もう少しで春ですね。2/3 に撮影しました。

会員からの投稿(4) 田村 耕作

この頃、一人散歩をする機会が大変多いのです。そんな中、森の住人、特に照葉樹の森を好むアオバトにつながる羽を立て続けに見つけました。

① かなたけ公園(1/21)、羽は 中雨覆の羽

② 舞鶴公園(1/22)、羽は尾羽

③ 茶山中央公園(2/10)、羽は胸の羽

④ 白水大池公園では 2/2 に目撃した。

1年を通して生息している留鳥と言われるのですが、傾向として、冬季に山から里の林に移動しているようなのです。

落ちていた羽は、見かけたら拾って観察して、落とし主が誰か、考えます。

落ちていた状態では、落とし主を特定するのは、私には難しい。

散歩後、羽の落とし主を推理するのも楽しいですね。

春日市の白水大池公園で見かけた時には、やっぱりこの時期、里に下りてきているんだと思った次第です。



①



②



③

◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

会費振込について

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2020年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 **01760-9-15783**

定例会に参加してみませんか?

今回の定例会は、**令和3年3月12日(金)午後2時**より事務局で行います。令和3年3月号の原稿は、**3/9(火)**までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

編集後記 2021年1月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作がそれぞれの自宅で作業した。

先月能古島を散歩しました。その時、島の西側にある自然探勝路で、道端で、写真の生きものを見かけました。モグラの仲間とは思いました。体に傷らしい痕は見当たらなかったが、動かない。息絶えているようです。とりあえず撮影した。ヒミズの仲間かも? 耳があるので、ヒミズではなさそう。

図鑑で探すと、「ジネズミ」が1番似ているようでした。

能古島で2004年12月からほぼ毎月1回鳥類を中心に生きものを記録して、今日まで継続中です。そんな中で初めて目撃した生きものでした。

野外を散歩すれば、いろいろな生きものに出会う可能性があります。実際に現地で散歩することが大切だとあらためて思いました。



撮影: 2021 02/05 能古島にて 田村耕作